

# 学校だより 安佐北

修学・克己・敬愛

広島市立安佐北中学校・高等学校

TEL 082-818-0656・0600 FAX 082-818-5140  
web http://www.asakita-h.edu.city.hiroshima.jp

平成25年度  
第4号  
12月19日  
(師走)  
(DECEMBER)

『子貢問君子、子曰、先行其言、而後從之。』(論語)

ことば

「子貢君子を問う。子曰わく、先ず行、其の言は而る後に之に従う。」

子貢が君子(人格者)について問い、孔子はこう答えられました。  
「言おうとする事を先ず実行してからものを語ることだ。」



水仙や寒き都の  
ここかしこ／蕪村

## ◎ 平成25年度「基礎・基本」定着状況調査

6月11日(火)に、公立中学校2年生を対象として、広島県内一斉に「基礎・基本」定着状況調査が行われました。内容は、国語・数学・理科・英語の4教科と、生活と学習に関する意識・実態の調査です。このほど、その調査結果が発表されましたので、国語・数学・理科・英語の4教科について報告します。

### 国語【分析】

「話し手の意図を考えながら聞き取る」「小学校で履修する漢字を読んだり書いたりする」の定着状況について、本校生徒はほぼ100%に近い通過率を示しています。「聞くこと」については、話し合いという形の言語活動を意識的に多く設けているために、論点を整理しながら聞く能力が身につけていること、漢字については小テストを毎週実施し、漢字練習を自主的に日々継続する習慣がついていることの成果だと思われます。

一方、重点課題になるのは「書くこと」領域の「叙述の仕方の確認」です。この問題では、1文を2文に分け、接続詞と主語を補うことが求められていますが、主語を補う部分が低い通

過率になっています。これは、「叙述の仕方」というよりも、「文の成分」の学習の定着が不十分なことが課題であると考えられます。

### 数学【分析】

「数と式」の領域の通過率が95.0%で、基本的な計算の能力は身につけてきていると思われます。関係を文字式で表す問題で通過率がやや低いですが、県の通過率と比べると本校の通過率は2倍となっています。

「図形」領域の通過率は91.5%で、回転体に関する問題で、他の問題と比べるとやや通過率の低い問題も見られました。実物を使って、立体的な見方を養っていかなければならないと思われます。

「関数」領域の通過率は86.5%で、基礎基本は理解できていると考えられます。課題としてきた反比例の問題の通過率は96.2%と改善されていますが、グラフ上を通る点を答える問題の通過率がやや低いように思います。

新傾向の問題であった「図形・関数・資料の活用」の通過率が76.9%で、他の分野と比べると、やや低いように思います。いくつかの単元を組み合わせた問題の通過率が少し低くなっています。

### 理科【分析】

「生物分野」では、通過率が78.5%で、基本的な道具の使い方、実験の仕方は身につけていると思われます。実験結果から考察するところが低い通過率になっているので、このような実践や問題演習を繰り返していきます。

「化学分野」では、通過率が72.1%で、基本的な知識は身につけていると思われます。今後も実験から考察させ、内容を深めていく指導を行っていきます。

「物理分野」では、通過率が65.4%と、県の通過率の約2倍となっていますが、おおむね知識は定着していると考えられます。今後も実験や演習を取り入れ、さらなる向上を目指します。

「地学分野」では、通過率が37.2%であり、低い値となっています。今後は、授業での取り組みとして、実験・観察をより多く取り組み、また演習やテストを通して、知識の定着を図っていきたいと思います。

### 英語【分析】

「聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」の3つの領域では、いずれも92%以上の高い通過率になっています。広島県の平均通過率と比較しても「書くこと」の領域では25%以上、「聞くこと」、「読むこと」の2領域では15%以上の高い通過率でした。

授業の中で、イントネーション、抑揚、強弱などを意識させての本文の音読、本文の概要を考えながら本文を全文暗誦する取り組みを入学時より重視し継続的に行っていることが、「内容を考えた音読」や「適切な語を用いた会話文の組み立て」の高い通過率に繋がっていると思われます。

一方、「話すこと」の領域は87.2%で、やや低い通過率となっています。特に、「自分の考えを正しく伝えるように話すこと」の3つの問題のうち1つでは、問題カードの図中にある曜日と日付のうち、曜日を答えるべきものを、誤って日付を答える生徒が多くいたため、通過率が低くなっています。これは単純に、曜日と日付の問い方の差異が十分理解されていないことが課題であると思われます。他の2問の通過率は91%と100%であり、授業中における英問英答の活動により、適切な応答の仕方が身

についてきていると思われます。

また、「読むこと・書くこと」領域の「資料や情報をもとに、自分の考えを伝える英語の文章を書くこと」は67.9%で、他と比べて低い通過率となっています。誤答として、動詞に必要な「s」を付け忘れているものが多く、動詞を正しく運用する力が若干身につけていないと考えられます。

## ◎ 芸術鑑賞会 11月12日(火)

今年度の芸術鑑賞は、日本の伝統文化である神楽を鑑賞しました。広島県立加計高等学校芸北分校神楽部23名の皆さん、細川分校長様にお越しいただきました。本校講堂の舞台一杯に広がる八頭立ての「八岐大蛇」は圧巻でした。



演目…「弓八幡」「八岐大蛇」

## ◎ アカデミック講演会 11月19日(火)

さまざまな学問領域において、最先端での研究に取り組んでおられる講師をお招きし、学問・研究内容に触れることで、その内容や、研究活動に対する関心を高めるとともに、大学に係る内容についての啓発を図り、生徒の進路志望に対する意識を高める事を目的としてアカデミック講演会を行いました。

京都大学大学院 人間・環境学研究所 仙石 祐 氏に『メディアの価値を守る・高める・創る』という演題で3~5年生を対象に講演していただきました。



## ◎ 広島北間税会会長賞受賞

中学生による「税の作文・習字」の応募により、木原結里さん(3年)の作品が広島北間税会会長賞を受賞しました。中国五県下498校30,965点の応募でした。



(了)

## 平成25年度「基礎・基本」定着状況調査

	国語	数学	理科	英語	3教科合計
広島県	71.7	69	39.9	72.1	212.8
広島市	68.8	65.1	36.8	67.8	201.7
安佐北中学校	88.9	89.6	63.3	90.9	269.4